

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2005-89463(P2005-89463A)

【公開日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-014

【出願番号】特願2004-268720(P2004-268720)

【国際特許分類】

C 07 C 68/06 (2006.01)

C 07 C 68/08 (2006.01)

C 07 C 69/96 (2006.01)

C 07 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 07 C 68/06 Z

C 07 C 68/08

C 07 C 69/96 Z

C 07 B 61/00 300

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

A) イッテルビウム化合物エステル交換触媒の存在下、大気圧～6バールの圧力および温度100～170で、ジメチルカーボネートをポリオール成分と反応させる工程、および

B) 更にメタノール/ジメチルカーボネート混合物を同時に蒸留し、かつ反応混合物の温度が195を越えないように、更に100ミリバールの圧力に到達するまで減圧し、反応混合物中に不活性ガス流を通す工程

を含むオリゴカーボネートポリオールの製造方法であって、

工程A)が、n-2連続副工程A_i)を含み、iは1～nの値であり、各副工程A_i)において、反応器中を3～6バールの圧力¹p_iとし、ジメチルカーボネートの合計量の部分x_iを該反応混合物の液相に加え、温度T_iで反応時間t_i後、一定温度T_iで圧力¹p_iから²p_iまで減圧される内に、該反応中に生成されたメタノールを気体状メタノール/ジメチルカーボネート混合物の形での蒸留によって該反応混合物から除去し、最終副工程A_n)において、まだ合計量から欠けている部分x_nを加えて、該副工程の最後の圧力2p_nを大気圧にすることを特徴とするオリゴカーボネートポリオールの製造方法。